



鉏路東高校 C・S 通信

令和8年2月25日発行 第9号

第3回学校運営協議会報告

令和7年度第3回学校運営協議会を2月24日（火）本校会議室において蝦名弘幸会長をはじめ、8名の委員の皆様にご出席していただき実施しました。

事務局からは令和7年度の教育活動について各分掌部長と生徒会担当者が説明を行いました。

総務部からは PTA 関係や学校運営協議会の1年間の報告、教務部からは生徒の学習活動についての報告、生徒指導部からは生徒の生活指導についての報告、進路指導部からは、3年生の進路状況についての報告、生徒会からは、部局の活動結果について報告がありました。主な内容として、今年度、全校でアサーショントレーニングを実施してコミュニケーションスキルの醸成を図ったこと、防災をテーマにした教科横断授業の実施や鉏路町、自衛隊と連携した1日防災学校の実施を通して防災意識の向上を図ったこと、生徒情報をこまめに収集し、いじめや人間関係のトラブルに早期に対応でき、生徒指導事案が大幅に減少したこと、次年度進路行事の事前・事後指導の充実を図り生徒の将来を見通す力の育成を行いたいといった話題が出されました。また、生徒会が生徒の身だしなみの改善に向けて「指定ジャージ登校の是非」について校内アンケートを実施していることについて話題にあげ、高校生のジャージ登校について委員の皆様にご意見を頂戴しました。委員の皆様からは、「生徒の発案を形にする



ことで生徒のモチベーションの向上に繋がるのでは」「生徒には自分たちで決めたことに対する責任を負わせることが必要では」「一定の条件が必要では」「生徒会だけではなく、クラスの代表者も議論に交えては」といった今後、議論を重ねていく上で参考になる貴重な御意見を頂戴しました。

続いて教職員、生徒、保護者に実施した学校評価について、教頭から傾向と分析について報告を行いました。特に学習指導面や生活指導面における教職員、生徒、保護者の評価結果の違いに着目し、互いの認識の差を縮め、学校の指導の意義や目的について教職員、生徒、保護者間で共通理解を図っていくことによって、学習指導や生活指導をより円滑に実施できるのではといった観点から、認識を揃える手段として、数多くある指導項目を精選し、指導に統一性や一貫性を持たせることの必要性について報告しました。このことに関連して、次年度「生徒の社会性を育てる」ための方策について提起しました。また、学校運営協議会の協力をいただき今年度から実施した、地域探究学習についても話題に上げ、「講師の方と協力し深いところまで話し合っ活動できた（生徒）」「自分でやることを見つけて積極的に行動できた（生徒）」「地域の課題を生徒が主体的に取り組める貴重な機会（協力者）」「地域の多種多様な職業の人と関わりを持つことができる取組（協力者）」といった意見が生徒や外部協力者の多くから寄せられており、地域探究学習が概ね肯定的に捉えられていることについて報告しました。一方、実施を通して見えてきた課題もあり、改善を図りながら次年度以降も実施していくことを確認しました。

最後に、学校関係者評価について、教職員評価と改善策の妥当性について評価をしていただくこと、評価の結果は次年度第1回学校運営協議会で公表することについて事務局より説明がありました。

御多用のなか、委員の皆様にはご出席いただき、誠にありがとうございました。委員の皆様から頂戴した御意見は、次年度の計画に反映し、教育活動の充実を図っていきたいと考えております。

